

備前市施策評価シート

(平成21年度事業)

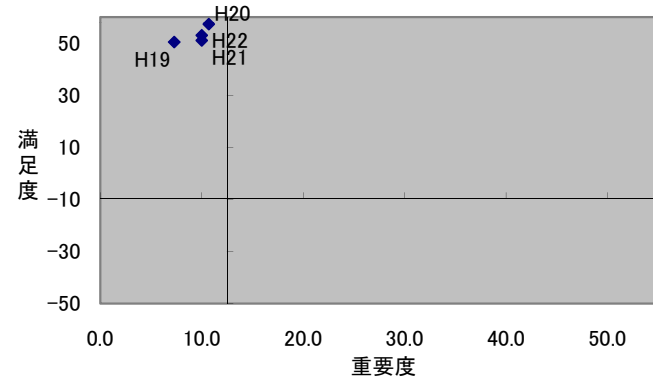
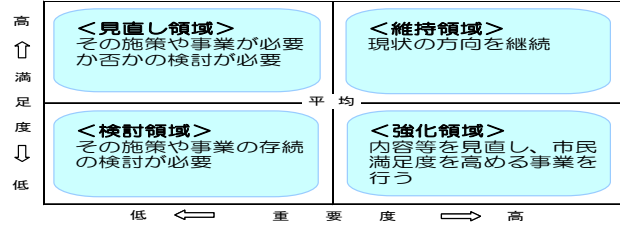
施策名 (小項目)	上水道及び簡易水道	コード	01-01-09	作成者	水道課長 高井利広
		役職		氏名	高井利広
		電話番号	0869-66-9793	このシート作成に要した時間	8.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	生活しやすいまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の日常生活と産業活動に欠かすことのできない水道水、安全で安定して供給するために、更なる水質の向上と老朽化が進んでいる施設の更新等、施設の計画的な整備を円滑に進めながら、広範囲な水道網を適切に維持管理し、生活環境の改善と公衆衛生の向上を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	現在の水道事業を取り巻く環境は、給水人口の減少、節水意識の浸透などにより水需要が減少傾向にあり、給水収益も水需要に並行し減少し、経営面で平成18、19年と2年連続の赤字決算となり、平成20年3月に水道料金を値上げさせていただきました。今後も安全な水道水を安定的に供給を継続していくため、施設全体について長期的な視野に基づく計画的な、老朽施設の更新、施設の耐震化等の施設整備を、平成20年度から実施しています。施設整備には必ずしも給水収益の増収に繋がらない投資が必要となります。いずれにしても施設整備は必要であり、健全な事業運営を行うためには、徹底した施設整備事業費等のコスト縮減、経営の効率化に努める必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の計画的な整備と簡易水道などの統合 震災・災害に対する施設整備 環境対策と水の安定供給 水質管理の徹底 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	7.3	10.7	10.0	10.0
満足度(%)	50.4	57.3	51.0	52.9



調査結果に対するコメント、市民の反応等	水道に対する市民の意識は、満足度は高いものの重要度が低い。水道は市民の日常生活に欠かせないものであり、蛇口をひねると常に良質の水が出ると、安心していることが伺われる。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21		H22	H23
成果指標 年間有収率	目標	%	92.0	92.0	92.0	H22	92.0
	実績	%	92.0	88.8	88.1	H23	92.0
	達成率	%	100.0	96.5	95.8	H28	92.0
	ベンチマーク		85.8	85.8	85.8	企業年鑑(210団体の平均)	-
参考指標① 水道料金収納率	目標	%	99.1	99.1	99.1	H22	99.1
	実績	%	98.4	98.7	98.3	H23	99.1
	達成率	%	99.3	99.6	99.2	H28	99.1
	ベンチマーク		-	-	-	-	-
参考指標② 年間給水量 千m³	目標	千m³	6,601	6,551	6,500	H22	6,434
	実績	千m³	6,452	6,339	6,185	H23	6,398
	達成率	%	97.7	96.8	95.2	H28	6,126
	ベンチマーク		-	-	-	目標値は予測見込値	-
参考指標③ 経常収支比率	目標	%	100.0	110.0	110.0	H22	110.0
	実績	%	97.2	111.3	113.4	H23	110.0
	達成率	%	97.2	101.2	103.1	H28	110.0
	ベンチマーク		100.0	100.0	100.0	(業務指標)100%以上であることが望ましい。	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 経常的 その他			
				平成19年度			平成20年度			平成21年度							
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数					
1 上水道管理運営事業	A	水道施設整備等策定事業	単市	4,646	3,771	0.35											H19終了
		水道施設維持管理運営事業	単市	121,123	55,171	7.30	108,700	39,242	4.94	101,121	32,806	4.14	☆☆☆☆	その他			
		水道施設建設事業	単市	588	6,355	0.73	14,091	5,049	0.52	78,474	7,706	0.78	☆☆	その他			
		水道施設改良事業	単市	84,168	9,840	1.65	167,476	17,014	2.55	155,877	25,269	3.43	☆☆☆	その他			
		水道事業審議会運営業務	単市	111	108	0.01	-	-	-	-	-	-	☆	義務的			
		水道事業計画事業	単市				0	1,282	0.13	0	2,743	0.26	☆☆	人件費のみ			
		企業債管理事業	内部管理	0	538	0.05	0	644	0.06	0	1,445	0.15	☆	人件費のみ			
		日本水道協会会費	内部管理	170	0	0.00	166	0	0.00	165	0	0.00	☆	経常的			
		日本水道協会中国四国地方支部会費	内部管理	68	0	0.00	67	0	0.00	66	0	0.00	☆	経常的			
		日本水道協会岡山県支部会費	内部管理	26	0	0.00	26	0	0.00	62	0	0.00	☆☆	経常的			
岡山県電力協議会会費	内部管理	16	0	0.00	16	0	0.00	17	0	0.00	☆	経常的					
2 水道料金賦課徴収事業	B	水道料金賦課徴収事業	単市	36,095	37,902	4.09	26,632	38,571	4.63	27,706	34,466	4.41	☆☆☆☆	その他			
3 簡易水道事業管理運営事業	A	簡易水道事業管理運営事業	単市	27,334	3,117	0.33	25,868	5,017	0.57	21,806	5,793	0.69	☆☆☆	その他			
4 飲料水供給施設管理運営事業	B	飲料水供給施設管理運営事業	単市	12,396	1,897	0.23	8,161	6,135	0.68	9,423	5,783	0.71	☆☆	その他			
5 簡易給水施設管理運営事業	A	簡易給水施設管理運営事業	単市	5,514	1,282	0.14	6,104	4,562	0.51	5,143	3,695	0.42	☆☆	その他			
6 水質管理事業	A	水質管理事業	単市	6,152	4,270	0.47	6,249	8,303	0.88	6,266	6,270	0.66	☆☆☆☆	その他			
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成19年度	平成20年度	平成21年度											
				298,407	124,251	15.35	363,556	125,819	15.47	406,126	125,976	15.65					

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	上水道事業は、地方公営企業法が適用され、特別会計による独立採算制の運営です。水道の需用は年々減少傾向にあり、これに伴い給水収益も減少している。平成20年度以降の年間有収率は90%を割り込んでいる。有収率が向上すれば、漏水等無効水量が低減し、効率的運営に繋がられる。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	水道は市民の生活、産業活動を支えるライフラインとして、欠かせないものであり、事務事業構成は妥当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	年間有収水量の向上に向け、漏水箇所の早期発見・早期対応を心がけ、安定供給の維持と年間有収水量の向上に取り組んでいるが、年間給水量も減少傾向にあるなか現状維持も厳しい。	
本年度(H22年度)取組内容 (課題解決状況)		水道の配・給水管施設は広範囲に埋設されている。漏水は住民よりの通報、検針員による報告、積極的な巡視及び計画的な漏水調査により、早期発見・早期対応より安定供給を維持し、年間有収水量の向上に取り組んでいる。また、将来にわたり安定供給が継続できるように、長期的視野に基づく施設整備(老朽化施設の更新等)を実施する。	
翌年度(H23年度)取組目標		水道事業を取り巻く環境は、水需要の低迷により給水収益が減少傾向にあり、厳しい経営状況が予測されるなか、水道水の安定供給のため、長期的視野に基づく施設整備(老朽化施設の更新や施設の統合)の実施事業また施工方法等について更に検討を加え、事業費のコスト縮減を図りながら実施し、事業運営に伴う適正な水道料金の設定を検討し水道事業の健全経営に努めていく。	
二次評価者コメント 役職 上下水道部長 氏名 樽家 真佐人		水道事業は、市民にとってのライフラインであり非常に重要な事業である。施設整備、施設更新等の事業は、水道水の安定供給から必要ではあるが、多額の事業を要することから、実施事業、実施年度、実施工法等を再度十分検討し水道事業の経営状況を考慮しながら進めてほしい。また、有収率向上のためにも計画的な漏水調査等の実施を検討していただきたい。	
		基本施策への 貢献度	4 やや高い